

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費：決算数値(千円)	13,823	13,883	14,454	1.04	・全般的に増加傾向で、特に登録者数の伸びが大きい。利用者層の拡大が続いている。 ・27年度後半の貸出及び入館者数の増加は、近隣の荻川地区図書室閉室の影響も大きい。 ・閉館後5年間の資料費増の割合と貸出点数の伸びが共通しており、他の要因と併せ資料の充実が利用増に大きく影響していることを表している。	・地区図書室の存在及び利用内容・方法についての一層の広報活動をお願いしたい。 ・資料の充実が利用者増に大きく影響していると思うので、購入費が減少しても選書によって、蔵書点数の増加より内容の充実で利用者増を目指してほしい。 ・新規登録者を増やすことが亀田図書館の抱えている至上問題だと思う。図書館が「アスパークにある」を知らない人がいる。PRを。 ・登録者数、貸し出す蔵書数が増え、入館者数も増えているのは、地域の図書館として利用しやすくなっているためと思われる。予約図書が入った時の案内もありがたい。
	蔵書点数(点)：図書・AV	93,322	99,537	106,134	1.07		
	個人の貸出点数(点)：雑誌・AV含む	341,154	364,228	375,713	1.03		
	個人の登録者数(人)	8,540	10,108	11,674	1.15		
	(内新規登録者数)	2,291	1,749	1,520	0.87		
	入館者数(人)	151,190	156,373	167,572	1.07		

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27目標	H27実績	評点	H28目標	評価(次年度への展開)	
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	1,514	2,479	3,300	3,706	3	3,800	・レファレンス件数は順調に増加している。職員が当館でのカウンター対応に習熟し、調査対応やその後の記録について、ゆとりある処置ができるようになってきたこと、利用者側も図書館利用の幅が出てきたことが背景と考える。	・利用者側に立った親切丁寧な対応に感謝する。 ・カウンター対応がレファレンス増加にもかかわらずよくなってきていると思う。記録を残すゆとりが生まれてきた、または改善に努めたと評価する。 ・職員のカウンター対応が笑顔で優しく、迅速に対処して、大変良いと思う。
	個人予約件数(件)	39,921	48,344	52,000	53,295	3	55,000		
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-		
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」							自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	5,147	5,717	5,740	5,759	3	5,800	・郷土・行政資料の貸出冊数は減少した。新潟の俳句関連資料やその他郷土資料の活用について、工夫が不足した面もある。 ・公民館等との連携・協力事業は妥当な件数で行えた。	・隣の郷土資料館展示室と内容を関連させて配架してはどうか。展示を見て調べやすくなると思う。 ・郷土の俳句資料の場所が一般の人にわかりにくいのではないかとと思う。2階に行ってみようと思うのは時間のあるときなので、工夫が必要と思う。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	3,151	3,033	3,100	2,892	1	3,100		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	0	0	0	0	-	0		
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	-	-	3	3	2	3		
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」							自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	85,999	92,261	99,000	99,836	3	100,000	・個人・団体の貸出冊数と事業参加数は増加し、利用者層の広がりがうかがえる。 ・要因のひとつとして、ブックスタートを亀田図書館が担当し、職員やボランティアとの関わりから、利用しやすくなった点も挙げられる。	・順調に増加し、とても評価できる。今後も努力をお願いする。 ・今後も、団体貸出や事業等のPRを続けるなど、利用者層を広げる工夫をしていくことが大切。 ・団体貸出冊数をはじめ、貸出冊数が増えているのは素晴らしいと思う。子ども、親子対象事業の参加者数も増えていて良いと思う。図書館が生活の一つの場として定着してきていると思う。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	755	557	800	852	3	900		
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	428	666	700	789	3	900		
	職場体験受入人数(人)	10	6	7	7	2	8		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	0	0	2	2	2	3		
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	-	-	2	2	2	3			
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」							自己評価	外部評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	590	421	420	481	1	485	・27年度からブックスタートボランティアが加わったため前年度比増加に転じた。 ・他のボランティア活動者数は現状維持。配架分野では開館直後の求心力が落ち着き、児童サービス分野では活発化している。 ・共催・協働事業により、地域や各関係機関との関わりが広がった。	・図書好きの人の輪が広がってほしいと思う。 ・ボランティアの活動を地域の住民に知らせ、協力者の増員または支援の意識・興味を持ってもらう工夫ができると良い。 ・ボランティアの受け入れをすることにより、図書館をより身近なものとして感じることができるので、人数の多い少ないはあっても継続してもらいたいと思う。	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	0	0	0	0	-	10			
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	2	2	2	2	2	2			
共催・協働事業の実施件数(件)	-	-	13	15	3	15			
効率的・効果的な運営(職員)							自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	18	32	32	32	2	35	・開館業務で忙しい中、積極的に研修に参加し、スキルアップに努めた。	・研修はとても大切と思う。頑張してほしい。 ・忙しい中、研修に参加しスキルアップに努めることは大切なことと思う。 ・継続を。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った